

子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ

# 子どもゆめ基金

Guide  
2016年

## ガイド

採択情報  
満載!!

HOWTO  
子どもゆめ基金

申請までの流れ



イラスト/西村 キヌ

子どもの  
体験活動・読書活動への助成  
を行っています。

★こんな使い方がある!! 助成活動事例を紹介



「子どもゆめ基金」について	1
「子どもゆめ基金」の概要	2
子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ	4
子どもゆめ基金ガイドの活用方法	5
「体験の風をおこそう」運動	6
平成27年度助成活動事例	
○子供の体験活動	
【自然体験】	
・プチ冒険倶楽部サマーキャンプ 〈プチ冒険倶楽部〉	8
・はじめてのキャンプ・自然体験2015 〈はじめてのキャンプ・自然体験実行委員会〉	10
【科学体験】	
・低温のふしぎ実験教室 〈科学ゆめクラブ津山〉	12
【交流体験】	
・通学合宿 〈あそびのきち おひさま〉	14
・地域で次世代を育てる「代官山ゆめフェスタ」 〈代官山ファンイン〉	16
【社会奉仕】	
・通学路の清掃・花いっぱい活動 〈おやゆび姫〉	18
【その他の体験】	
・ウィズキッズスマイル 〈公益財団法人 京都YMCA〉	20
○子供の読書活動	
【読書】	
・ウーリー読書キャンプ 〈社会福祉法人 豊野助正会 児童養護施設みのり園〉	22
・おはなし会で活かす講習会 〈子ども読書活動ネットワーク白山〉	24
コラム（絵本専門士）	26
○教材開発・普及活動	
・めざせ！アウトドアマイスター 〈特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会〉	28
平成27年度助成活動で開発された教材一覧	29
平成27年度普及啓発事業（日中韓子ども童話交流事業）	30
平成27・28年度 申請・採択状況	32
子どもゆめ基金へのご協力を 「子どもゆめ基金」へ寄附いただいた皆様	裏表紙

# 「子どもゆめ基金」について

「子どもゆめ基金」は、衆議院・参議院の超党派の国会議員により構成される「子どもの未来を考える議員連盟」が子供の未来のために有意義な基金の創設を発意し、平成13年4月に創設されたものです。

かつての子供たちは、自然の中や地域において様々な自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会に恵まれていました。しかしながら、今の子供たちをめぐる環境は、心や体を鍛えるための負荷がかからない「無重力状態」であるとともに、保護者の経済力や保護者自身の経験の多寡、学校の判断によって、体験活動の機会に「体験格差」が生じているとの指摘もあります。(平成25年度中教審答申より)

体験活動に関する調査((独)国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する

調査研究」(「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」)では、「子供の頃の体験活動が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い」、「体験を多く行っている青少年ほど、他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣が身につけており、自己肯定感も高い傾向にある」など、子供の頃の体験は、その後の人生に影響することが示唆される結果が出ています。

体験活動・読書活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢をもった子供の健全育成を推進するため、地域の草の根団体等が実施する様々な体験活動や、特色ある新たな取り組み、体験活動・読書活動の振興を図る取り組みの裾野を広げる様な活動を中心に、支援を行っています。

民間からの寄附

独立行政法人  
国立青少年教育振興機構  
子どもゆめ基金

助成



子供の体験活動を支援

助成



子供の読書活動を支援

# 「子どもゆめ基金」の概要

## 助成金の交付

### ◆ 助成の対象となる活動

- 1 子供の体験活動
  - ・ キャンプや自然観察などの自然体験活動
  - ・ 科学実験教室等の科学体験活動
  - ・ 文化・芸術、スポーツ等を通じ交流を目的とする体験活動
  - ・ 清掃活動等の社会奉仕体験活動
  - ・ 地域の商店街・農業・漁業等の職場体験活動
  - ・ 子供の体験活動の指導者養成 など
- 2 子供の読書活動
  - ・ 読み聞かせ会、読書会活動
  - ・ 子供の読書活動の振興を図るフォーラムの開催 など
- 3 子供向け教材開発・普及活動
  - ・ インターネット等で使用可能なデジタル教材を開発し普及する活動

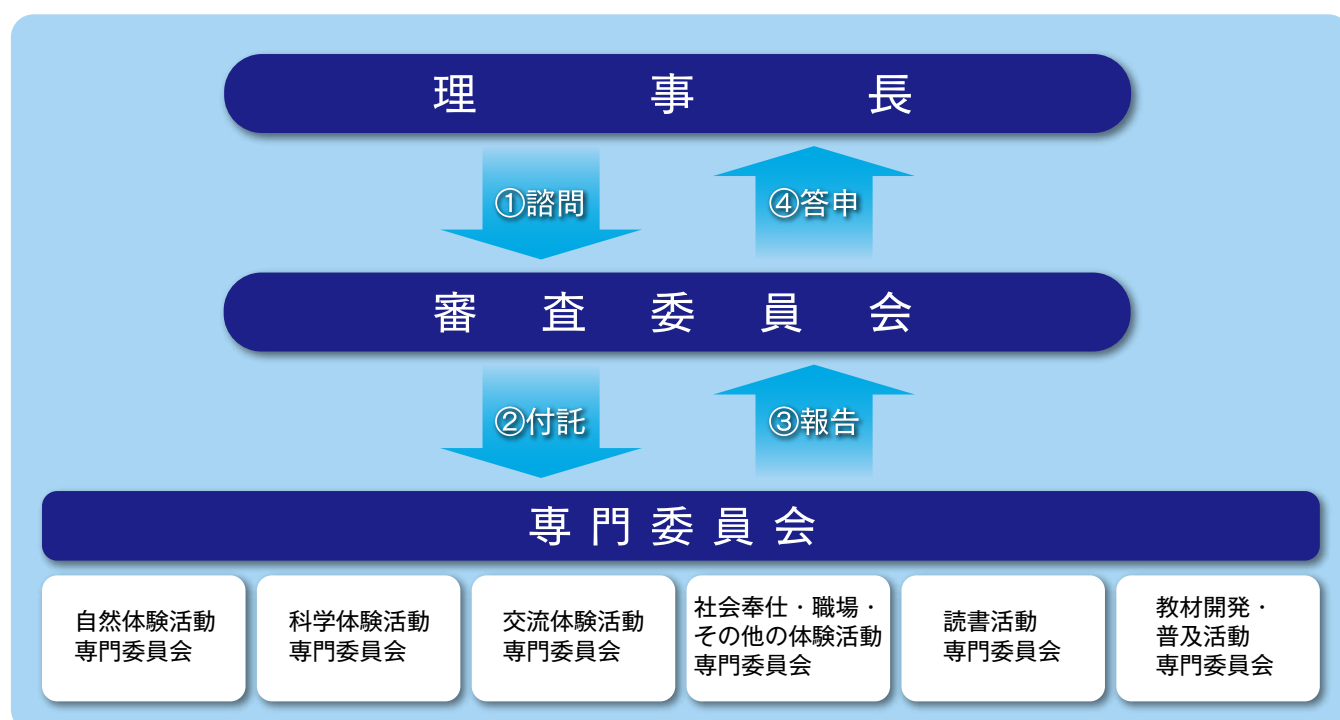
### ◆ 助成の対象となる団体

青少年教育に関する団体（公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人、特定非営利活動法人、法人格を有しないが青少年のために活動する団体）

### ● 助成金の額と審査方法 ●

子どもゆめ基金では、体験活動等の分野において実務経験を持ち、青少年教育に高い識見を有する委員で構成する「子どもゆめ基金審査委員会」を設置し、審査を行います。

その審査にあたっては、各団体から提出された申請書を専門的見地から合議により評価し、採択する活動及び助成金額を決定します。



# 困難な環境にある子供の体験活動や読書活動への助成

## ◆ 背景

我が国の子供の相対的貧困率は、年々上昇しており、世代を超えた「貧困の連鎖」が指摘されるなど、子供の貧困は喫緊の課題であるとして、平成 26 年 8 月に「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定され、国において総合的な取組が推進されることとなりました。このような国の動向を踏まえ、子どもゆめ基金では経済的に困難な状況にある子供たちを対象に以下の取組を始めました。

## ◆ 取組の概要

民間団体が、経済的に困難な状況にある子供を対象とした体験活動や読書活動を行う場合、通常は助成対象外とされている参加者の交通費・宿泊費などの自己負担経費について、特に助成の対象とすることで、参加する子供の負担が軽減されるようにしました。その結果、平成 28 年度子どもゆめ基金助成活動には、236 件の申請があり、このうち貧困対策に適合した申請を 132 件採択しました。

## ◆ 助成の対象となる活動

この助成の対象となる活動は、以下 1、2 のとおりです。

1. 児童養護施設や母子生活支援施設をはじめとする経済的に困難な状況にある子供の健やかな育成を目的としている民間の機関・団体が行う体験活動や読書活動
2. 上記 1. 以外の民間の機関・団体が、経済的に困難な状況にある子供の健やかな育成を目的として、児童養護施設や母子生活支援施設、地方公共団体などと協力して行う体験活動や読書活動

詳しくは、子どもゆめ基金募集案内をご覧ください、子どもゆめ基金部助成課までお問い合わせください。

## 普及啓発

子どもゆめ基金では、子供の体験活動や読書活動の振興を図るための普及啓発を行っています。  
(子どもゆめ基金ガイドの作成、普及啓発事業の実施等)



# 子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ —申請までの流れ—

初めての団体、小さな団体のみならず、ご応募お待ちしております。

## 企画立案はどうすれば…

### 「どんな活動があるのかな？」

→子どもゆめ基金ガイド2016を読んで、これから企画する活動の参考にしてみましょう。

◎過去の子どもゆめ基金ガイドもホームページからご覧になれます。

URL : <http://yumekikin.niye.go.jp/download/index.html>

## 実際に申請してみたい…

### 「子どもゆめ基金のことがもっと知りたい！」

→子どもゆめ基金募集説明会に参加してみませんか？

◎毎年9～11月にかけて全国40都市以上で実施しています。会場では、申請のガイダンスや個別質問回答コーナーを設けています。

#### 子どもゆめ基金部主催説明会

- 9月30日(金) オリンピックセンター (東京都渋谷区) 13:30～
- 10月28日(金) 天満研修センター (大阪府大阪市) 13:30～

その他の会場や会場の詳細はホームページの注目情報からご確認いただけます。URL:<http://yumekikin.niye.go.jp/>

◎さらに、申請にあたってわからないことや相談したいことがあれば、子どもゆめ基金までご連絡ください。  
(メールでのお問い合わせ : [yume@niye.go.jp](mailto:yume@niye.go.jp)、電話でのお問い合わせ : 0120-57-9081月～金AM9:00～PM5:45)

## 募集期間は？

### 「子どもゆめ基金の募集期間」

一次募集期間	郵送	平成28年10月3日(月)～11月15日(火) 消印有効
	電子申請	平成28年10月3日(月)～11月29日(火) 17:00締切
二次募集期間	郵送	平成29年5月1日(月)～6月6日(火) 消印有効
	電子申請	平成29年5月1日(月)～6月20日(火) 17:00締切

- ※1 二次募集は市区町村規模・申請額50万円以下(様式B)のみとなります。
- ※2 直接持参する場合は、平日(土日祝除く)9:00～17:45まで受け付けます。
- ※3 初めて電子申請される場合は、申請の前にID申請が必要となります。

募集案内や申請書は、子どもゆめ基金ホームページからダウンロードできます。従来の郵送による申請に加え、電子申請システムを利用した申請も可能です。一度電子申請で手続をとると、実績報告書の作成や次回以降の申請も簡単にできます。



# 子どもゆめ基金ガイドの活用方法 —申請のワンポイントアドバイス—

活動例を読んだら団体のメンバーと相談して、企画してみましょう！

STEP4

STEP3

STEP2

STEP1

STEP2

STEP3

STEP2

## STEP1 「活動の目的」を考えてみましょう

1. 活動を通じて、参加者に伝えたい・感じてほしい・身につけてほしいことは何でしょうか。
2. 活動の目的やねらいを達成するためにどのような工夫ができるでしょうか。
3. 目的やねらいを達成する内容・ポイントは、活動プログラムのどの部分に盛り込みますか。

## STEP2 「活動終了後の成果」を考えてみましょう

1. STEP1で考えた、活動の目的・ねらいが、どのように参加者の成長につながるかイメージしてみましょう。
2. 参加者の成長から、どのようなことが得られるでしょうか。団体の成長・発展について考えてみましょう。

## STEP3 具体的に活動内容を考えてみましょう

1. 参加者の興味を引きそうな活動名を考えてみましょう。
2. 活動の対象者・募集人数・日程・活動の概要を考えてみましょう。

## STEP4 「活動プログラム」の予定を組んでみましょう

1. STEP1～3で考えた内容を取り入れて、活動プログラムの1日の流れを考えてみましょう。
2. プログラム全体の運営は誰が担当するか、外部指導者は誰に依頼するか考えてみましょう。
3. 参加者の安全・体調管理にも留意しながら、タイムスケジュールを作成してみましょう。

# 「体験の風をおこそう」運動<sup>®</sup>

## 「体験の風をおこそう」運動とは

近年、社会が豊かで便利になるなかで、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している傾向にあります。「体験の風をおこそう」運動は、子供の健やかな成長に、体験がいかに大切かを広く発信し、社会全体で体験活動を推進する気運を高める運動です。

## 青少年期の体験が大切な理由とは

- 子供の頃に、家庭や地域などで様々な体験をした人ほど、大人になってからの資質・能力が高い傾向にあります。
- 「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」と回答している子供の方が、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。

※詳しくは次のページをご覧ください。



## 「体験の風をおこそう」運動に参加してみませんか。

### (1) 体験の風をおこそう推進月間事業

体験の風をおこそう運動推進委員会では、毎年10月を「体験の風をおこそう推進月間」と定め、事業統一日（平成28年度は10月22日（土））を中心に、全国各地で子供たちやその家族と一緒に体験できる機会と場の拡充及びその社会的気運の醸成に努めています。

そこで、全国の青少年団体等に呼びかけ、10月に「体験の風をおこそう」運動に賛同して実施していただける事業を募集しています。登録は、「体験の風」HP (<http://taikennokaze.jp/download>) より、要項をご確認の上、登録申込書に必要事項をご記入した後、メール ([taikennokaze-suishin@niye.go.jp](mailto:taikennokaze-suishin@niye.go.jp)) またはFAX (03-6407-7699) にてご提出ください。

### (2) 子ども体験遊びリンピック

体験の風をおこそう推進月間事業のうち、特に競技性のある体験活動を幼児、小学生、中学生、親子等を対象に実施する事業を「子ども体験遊びリンピック」として併せて実施しています。

※上記(1)または(2)の事業に参加いただける団体には、希望により「普及啓発ちらし」や「のぼり旗」を、また(2)の事業を10月（推進月間）に実施する参加団体には、同委員会の松本零士委員長（漫画家）がデザインしたメダルと賞状をお送りします。

＜普及啓発ちらし＞



＜のぼり旗＞



＜メダルと賞状＞



本運動の普及啓発に関する広報物には、本運動のロゴや応援団（ガチャピン・ムック）の画像をご利用いただくことができます。

＜ロゴ＞

## 「体験の風をおこそう」運動<sup>®</sup>



←エントリー方法等の詳しい情報は、当機構のホームページにある左記バナーからご覧になれます。

＜応援団画像＞



## ガイドブック 「体験・遊びナビゲーター」



当機構では、自然の中での体験や遊びを紹介したガイドブック「体験・遊びナビゲーター」を作成しました。ホームページからダウンロードできます。

<http://www.niye.go.jp/taikenasobi/>

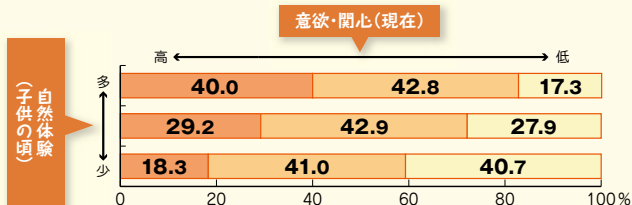


# 子供の頃の体験は豊かな人生の基盤になります！

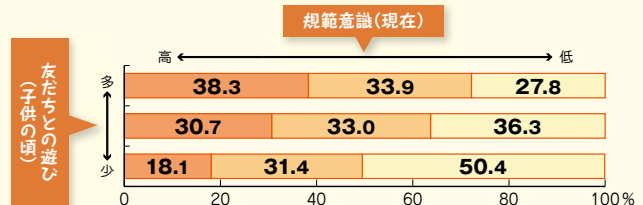
子供の頃の様々な体験が豊富な人ほど、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係能力などの資質・能力が高い傾向にあります。

子供たちの健やかな成長には普段からの、友だちとの遊び、お手伝いや地域での活動などが大切です。

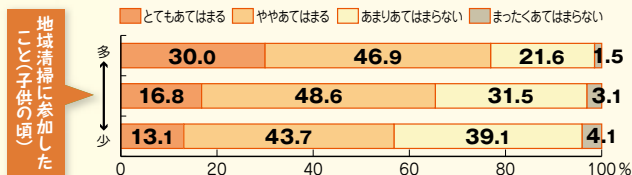
## 子供の頃の「自然体験」と現在の「意欲・関心」との関係



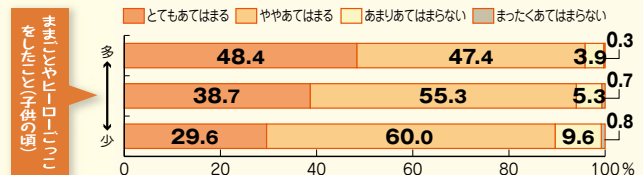
## 子供の頃の「友だちとの遊び」と現在の「規範意識」との関係



## 経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい(現在)



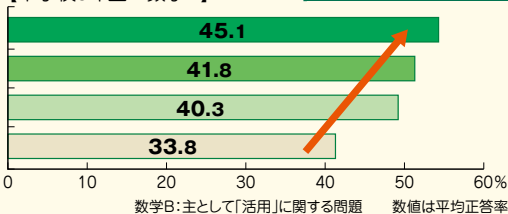
## 電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う(現在)



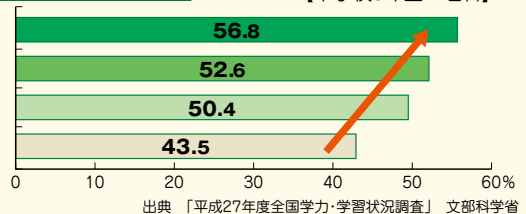
出典 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」 国立青少年教育振興機構 平成22年

「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」と回答している子供の方が、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。

【中学校3年生 数学B】



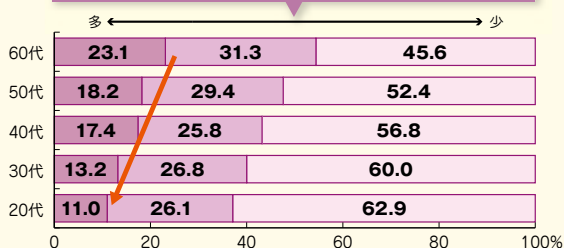
【中学校3年生 理科】



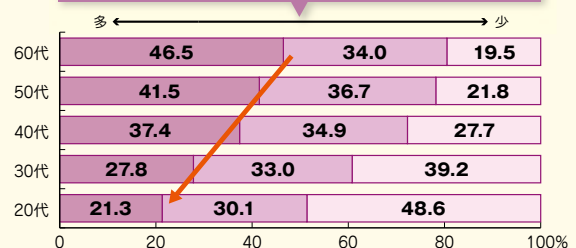
出典 「平成27年度全国学力・学習状況調査」 文部科学省

子供たちが、自然のなかや、友だちと遊ぶなどといった体験の機会が減少しています。

中学生の頃に海や川で貝を採ったり魚を釣ったりしたことの推移



小学校4～6年生の頃にすもうや、おしくらまんじゅうをしたことの推移



出典 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」 国立青少年教育振興機構 平成22年

## 体験の風をおこそう運動推進委員会 構成団体

ガールスカウト日本連盟 国立青少年教育振興機構 自然体験活動推進協議会 社会通信教育協会 修養団 全国学校栄養士協議会 全国公民館連合会 全国子ども会連合会 全国児童養護施設協議会 全国スポーツ推進委員連合 全国ラジオ体操連盟 日本キャンプ協会 日本子守唄協会 日本青年団協議会 日本体育協会日本スポーツ少年団 日本PTA全国協議会 日本ユースホステル協会 日本レクリエーション協会 ハーモニイセンター ポーイスカウト日本連盟

体験の風をおこそう運動推進委員会事務局 (国立青少年教育振興機構調査・広報課) 〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1  
Eメール taikennokaze@niye.go.jp 電話番号 03-6407-7621

# プチ冒険倶楽部サマーキャンプ

- 活動期間／平成27年8月20日(木)～8月23日(日) 3泊4日
- 活動場所／群馬県 おにし青少年野外活動センター
- 募集地域／神奈川県横浜市を中心にその近郊
- 募集対象／小学生(2～6年生)、中学生、高校生
- 募集方法／◆チラシ(配布先：市内のボランティアセンター)◆ポスター(掲示先：市内のボランティアセンター)  
◆団体のウェブサイト
- 実施団体名／プチ冒険倶楽部
- 構成員数／4人
- 連絡先／〒223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学 体育研究所 野口気付  
Mail: info@petit-adventure.jp URL: http://www.petit-adventure.jp



課題解決ハイキングの一コマ



クラフト

## 活動のねらいとポイント

発達障がいのある児童・生徒を対象に、自然の中での活動を通して、彼らとその個性に応じて自分らしく生きていくための基礎作りを支援します。

具体的なプログラム名	主なポイント
課題解決ハイキング	施設内をハイキングしながら、各ポイントでパートナーや他のキャンパーと協力しなければ解決できない様々な課題にチャレンジする。
うどん作り	うどん調理を麺打ちから取り組む。小麦粉をこねる、野菜を切る、麺を伸ばして切る、などキャンパー1人1人の個性に応じて食事作りに取り組めるように配慮する。
カヤック体験	湖でカヌー・カヤックにチャレンジする。基本的にはパートナーと2人で乗るが、希望するキャンパーは1人乗りのカヤックにもチャレンジする。

## 参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】 事前に十分な下見を行い、危険箇所をチェックした上で安全対策を講じると共に、スタッフ研修で危険予知トレーニングや救急法の講習を行う。

【健康管理】 保護者との事前顔合わせ会で、健康管理や薬等に関する詳細な聞き取り調査を行うと共に、活動実施期間中には、子供1名に対してボランティア1名が生活を共にしながら健康管理に関するケアも行う。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
8月20日	8:30	横浜駅集合 バス移動
	11:30	野外活動センター到着 昼食 はじまりの会
	13:30	課題解決ハイキング
	18:00	夕食
	19:00	夜のつどい 入浴
	21:00	就寝
8月21日	7:30	起床 朝食
	9:30	川遊び
	12:30	昼食 昼寝
	15:00	クラフト
	16:30	うどん作り 夕食 入浴
	21:00	就寝
	8月22日	7:30
10:00		カヤック体験
12:00		昼食
13:00		カヤックで湖をツアー
16:00		入浴
18:00		夕食
19:30		キャンプファイアー
21:00		就寝
8月23日		7:30
	9:00	片付け
	10:30	プレゼント交換 おわりの会
	11:30	野外活動センター出発 バス移動
	15:00	横浜駅着 解散



湖を巡るツアー

## 活動の成果と課題

このキャンプは今年で5年目を迎え、リピーターが多いことから、新たな成果を見出すことができました。2日目のうどん作りのプログラムで、班のメンバー同士で助けあったり、うまく活動に入れない子供に対して班のメンバーが励ますという場面が見られました。適切な対人関係を結ぶことに課題がある発達障がいの子供たちでも、同じプログラムを積み重ねることで、活動に見通しを持ち、周りを見る余裕ができたことが、このような行動につながったと考えています。今年で3回目となるカヤック体験もそれぞれの意志に応じたチャレンジができました。活動のサポートのために多くのスタッフが必要となるため、活動の目的を理解してくれるスタッフを集めるのが毎年の課題です。



キャンプファイアー

## 団体概要

ブチ冒険倶楽部は、心身の障がいやその他の要因でさまざまな支援を必要とする人々に対して、自然の中での楽しい活動や、チャレンジの必要な活動を通して、その人の持っている可能性を広げ、すべての人がその個性に応じて自分らしく生きていくことができる社会の実現を目指します。スタッフは、キャンプ・野外活動の専門家と発達障がいのある子供の支援に関する専門家、学校教員等がチームを組んで、プログラムの企画・運営を行っています。年1回のサマーキャンプの他、参加者の年齢や体力レベル、ニーズに応じた5～6名のグループで、週末に日帰りまたは1泊で、雪遊びやハイキング、テントでキャンプなどのプログラムを行っています。

# はじめてのキャンプ・自然体験 2015

- 活動期間／平成27年8月16日(日)～8月18日(火) 2泊3日
- 活動場所／千葉県立手賀の丘少年自然の家
- 募集地域／茨城県行方市内全域
- 募集対象／小学生(4～6年生)
- 募集方法／◆チラシ(配布先：市内全小学校)
- 実施団体名／はじめてのキャンプ・自然体験実行委員会
- 構成員数／13人
- 連絡先／〒311-1704 茨城県行方市山田2175番地 Tel: 0291-35-2908 Fax: 0291-35-3773



2015 はじめてのキャンプ集合



野外炊飯「カレーライス作り」

## 活動のねらいとポイント

男女混合の異年齢集団キャンプを通して、自分自身に自信と誇りを持てる、お互いの成長の喜びを分かち合える体験をねらいとする。

具体的なプログラム名	主なポイント
野外炊飯 (カレーライス)	グループ内でお互いを助け合う気持ちや火の取扱いについて学ぶ。
ウォークラリー	最後までやり遂げる気持ちをもってもらう。
キャンプファイヤー	仲間と燃える火を囲み、火の神秘さを体験する。

## 参加者の安全対策・健康管理

### 【安全対策】

事前の下見と担当者との打ち合わせを行う。また、危険箇所を把握し、安全なプログラムを作成する。参加者全員が傷害保険に加入する。

### 【健康管理】

保健師が参加し参加者の健康状態の把握に努める。また緊急時に備えて近隣の病院を把握しておく。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
8月16日	9:00	各公民館に集合(バス2台で移動)
	10:00	房総のむら体験博物館見学
	14:00	手賀の丘少年自然の家(オリエンテーション)
	15:00	レクレーション・グループ交流会
	19:00	プラネタリウム体験
	20:15	グループ交流会(反省会)
	22:00	就寝
8月17日	6:30	起床、清掃、朝食
	9:00	万華鏡作り
	10:00	野外炊飯(カレーライス)
	13:00	ウォークラリー
	15:00	グループ交流会
	18:30	キャンプファイヤー
	22:00	就寝
8月18日	6:30	起床、清掃、朝食
	9:00	勾玉作り
	15:00	各公民館にて解散

## 活動の成果と課題

市内の小学校に募集のチラシを配布し、36名の小学生が参加してくれました。

野外炊飯でのカレー作りでは、各グループに分かれ、ボランティアの高校生がリーダーとなって小学生に野菜の切りかたや包丁の使い方などの指導をし、幅広い年齢層で異年齢交流を行うことができました。また、ウォークラリーでは雨の中、傘をさしながらみんな最後まで諦めずゴールすることができました。

今後も現状を維持するだけではなく、地域の子供たちが参加しやすい充実したプログラムを立案していくことが大きな課題です。



雨のウォークラリー



キャンプファイヤー

## 団体概要

市内の小学生を対象にした企画を立案し、子供の健全育成を主とした活動に努めています。

平成17年の3町合併を機に子供会の役員13名、行方市高校生会8名、OBなどの団体構成員によって結成されています。

## 低温のふしぎ実験教室

- 活動期間／平成27年7月11日(土)      ■活動場所／津山工業高等専門学校
- 募集地域／岡山県北(津山市、真庭市、美作市、奈義町、勝央町、鏡野町)
- 募集対象／小学生(3～6年生)
- 募集方法／◆チラシ(配布先：岡山県北全小3年以上)◆津山高専ホームページ
- 実施団体名／科学ゆめクラブ津山      ■構成員数／7人
- 連絡先／〒708-8509 岡山県津山市沼624-1津山高専内

Tel: 0868-24-8186 Mail: satom@tsuyama-ct.ac.jp URL: <http://www.tsuyama-ct.ac.jp>



講義



縮む風船

### 活動のわらいとポイント

液体窒素を用いた低温実験や磁気浮上実験を研究者と一緒に行うことで、科学研究への興味関心を高めることを目的としています。

具体的なプログラム名	主なポイント
児童生徒の理科離れ対策	研究者の立場から科学のおもしろさを伝え、科学への興味関心を高める。
自然の不思議体験	風船を液体窒素につけて冷やすと、風船内の空気が液体になる体験をする。
先端技術体験(超伝導)	超伝導のピン止め効果により、リニアモーターカーができることを体験する。

### 参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】 参加者5人につき1人のスタッフを配置し、安全対策を行う。実験室を使用する際、液体窒素の蒸発により酸欠になる恐れがあるが、使用量は室内容積に比べ少ないので問題はないことを確認した。念のため安全に配慮し、換気を充分に行い、さらに一部窓を開けた状態で実施する。

【健康管理】 実験の合間に十分な休憩時間をとり、参加者の疲労を避ける。また、熱中症発生対策のため空調・換気を行う。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容	
7月11日	10:00	スタッフ集合、受付会場設営、実験準備	
	13:00	受付開始	
	14:00	開会	
		実験内容	
	各15分 ~20分	1.	机の上に液体窒素をこぼし、気化することを体験
		2.	ソフトテニスボールや風船を液体窒素に入れ、空気の収縮、液化と膨張を体験
		3.	フィルムケースに液体窒素を入れ、気化による膨張を体験
		4.	金属を液体窒素に浸けて冷却し、磁気が通りやすくなることを体験
		5.	ネオジム磁石で線路をつくり、リニアモーターカーの浮上実験を体験
		6.	冷凍マシュマロをつくり、温度による物質の変化を体験
16:00	閉会		
17:00	片付け、撤収		

## 活動の成果と課題

マイナス196℃の液体窒素で風船がみるみるしぼむ様子や、ソフトテニスボールが陶器のように硬くなって割れる様子に子供たちは驚いていました。日常では接することの無い特殊な低温環境では、空気が液体になったり、物が硬くなったり、電気抵抗が無くなったりと不思議なことが起こることを、子供たち自身に実体験してもらうことができました。またネオジム磁石を用いた酸化超伝導体の磁気浮上実験では、金属が低温になると磁石の影響を受け易くなることなどを学び、リニアモーターカーの原理を考えることもできました。

残念ながら参加者は単に体験を楽しむだけで終わっている懸念があります。体験教室を機会に自ら学ぶ行動に進んでいただけるような工夫を加える必要があると感じています。



蓋ロケット



冷凍マシュマロ

## 団体概要

岡山県南部地域に比べ北部地域では、科学イベントはほとんど開催されない状況にあります。そこで主に岡山県北部地域に住む子供たちに科学への関心を持ってもらうことを目的として、津山工業高等専門学校教員有志が中心となり平成23年11月に設立したのが、「科学ゆめクラブ津山」です。さらに「科学ゆめクラブ津山」構成員が中心となり、岡山大学など県内3大学、博物館、資料館など6機関が津山工業高等専門学校を会場にして、科学イベントの開催などの活動もしています。現在、代表を含め5名の津山工業高等専門学校の現職教員、1名の退職教員および1名の小学校退職教員、計7名から構成されています。年齢構成は、70代1名、60代1名、50代2名、40代3名、うち女性1名です。

## 通学合宿

- 活動期間／平成27年9月15日(火)～9月18日(金) 3泊4日      ■活動場所／昭和親子ふれあいプラザ
- 募集地域／昭和地区(岡山県総社市)
- 募集対象／未就学児(4～6歳)、小学生(1～6年生)
- 募集方法／◆チラシ(配布先：昭和小学校、維新小学校)◆ポスター(掲示先：放課後児童クラブおひさま)
- 実施団体名／あそびのきち おひさま      ■構成員数／6人
- 連絡先／719-1311 岡山県総社市美袋1584-1      Tel: 0866-99-2850



活動開始のエイエイオ～。



夜のお散歩です。

### 活動のわらいとポイント

放課後、子供同士の関わりが持ちにくい地区であることから、友達とともに学び・遊び・寝食を共にすることで交流を深めます。集団生活の中で、お互いを思いやり助け合いながら自分のことは自分でする態度を育てます。

具体的なプログラム名	主なポイント
ミニ運動会	自分たちで考えた種目を取り入れ、グループで競い合いスポーツを楽しむ。
バーベキュー	自分たちで火をおこし食材を切り、飯ごうでご飯を炊く体験をする。
造形教室	グループの中でアイデアを出し合い、協力して作品作りを楽しむ。

### 参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】 施設の点検をする。
- 【健康管理】 看護師が合宿に参加する。薬が必要な児童の保護者との事前打合せをする。



## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
9月15日(火)	14:50	下校、宿題、友達との自由遊び ※2～6年15：50下校
	18:00	夕食、入浴
	19:30	ナイトウォーク(きもだめし)
	21:00	就寝
9月16日(水)	6:00	起床、朝食
	7:40	登校
	14:50	ミニ運動会 ※一斉下校
	16:30	宿題指導
	18:00	入浴、食事
	21:00	就寝
9月17日(木)	6:00	起床、朝食
	7:40	登校
	14:50	下校、宿題指導 ※3～6年15：50下校
	16:00	造形教室
	18:00	入浴、食事
	21:00	就寝
9月18日(金)	6:00	起床、朝食
	7:40	登校
	14:50	下校、宿題指導 ※4～6年15：50下校
	17:00	バーベキュー
	19:00	花火、片づけ
	20:00	解散

## 活動の成果と課題

【成果】 子供たちはテレビやゲームがない生活を経験し、将棋やおセロ、トランプといった遊びがあらゆる盛り上がっていました。初めて参加する低学年の子供はあまりに興奮して授業にならないくらい楽しかったようで、学校から苦情が出るほどでした。自分の身の回りのことを自分でやっていない子供は、忘れ物も多く困る場面も出ましたが、上級生が生活のコツを優しく教える姿が素晴らしかったです。宿泊を経験したことのない子供は途中で泣き出して保護者に迎えに来てもらう場面もありましたが、友達が帰っても自分はどうするのかを決めて全泊できた子供が11名いました。当初の合宿では寝不足の子供が学校の保健室で休んだり虫刺されで大変だったり、自分でご飯をよそうことができず、大人にも助けると言えず、朝食がほとんど食べられなかった子供がいましたが、1年後には成長を遂げ、合宿に主体的に参加し楽しめるようになった姿に感心しました。

【課題】 学校生活に支障をきたしたので計画・日程を見直します。さらに学校と連携して協力体制を強化することが課題です。



どんな五・七・五ができるかな。



がぶりっ!! ぼくが1番だ～!

## 団体概要

平成15年11月過疎化が深刻な昭和地区の子供たちの健全育成を願って、幼稚園児の保護者有志で立ち上げたボランティア団体です。未就園児親子の交流のための子育てサロンや、幼稚園・小学校の放課後の安心できる受け皿となり、平成17年放課後子供教室、学童保育が同時に立ち上がりました。0歳から中学生を対象にして自然体験、交流体験、生活体験、読書活動の場を提供しています。地域、学校とのネットワークを強化し、地域を元気にするイベントを企画、運営しています。また、保護者、スタッフ、教員と連携して子供の成長をサポートし、大人から子供まで安心できる居場所になっています。異年齢の子供たちが安心して外で群れ遊べる場を提供し、人と関わる力を育み、たくましくしなやかな人間力を育て、人と響き合い共感する心を育み、故郷を愛する子供たちが育つことを目指しています。子供たち一人一人が個性を輝かせることができるよう、応援している団体です。

# 地域で次世代を育てる「代官山ゆめフェスタ」

- 活動期間／平成27年5月10日(木)～8月9日(日) 26回
- 活動場所／渋谷区立鉢山中学校
- 募集地域／恵比寿、代官山地域
- 募集対象／小学生(5～6年生)、中学生、高校生、一般成人
- 募集方法／◆チラシ(配布先：近隣小学校、中学校、町会)  
◆ポスター(掲示先：近隣小中学校、区施設、町会掲示板、商店店先)◆渋谷区の子供会などの団体
- 実施団体名／代官山ファンイン
- 構成員数／5人
- 連絡先／代官山ファンイン事務局 本木春実 Tel: 090-1509-7209



お化けスタッフ全員集合



中学生から大学生の会議

## 活動のねらいとポイント

地域の大人の力で、子供たちの地域を愛する気持ちを育むとともに、学校をこえた子供たちの交流を促進します。

具体的なプログラム名	主なポイント
運営委員会	熟議とふりかえりを通じ、他者との違いを受け止め共感性を高めるとともに、リーダーシップやチームワーク力を養う。
ゆめフェスタ会議	小学生の主体的な参加、中学生のリーダーシップを促進し、自主的に活動する中で、自己肯定感や有用感を育む。
お化けやしき準備・当日	地域の多様な世代と交流することで地元への愛着と就業意欲を生むだけでなく、協働することの楽しさ、体験を通して達成感を得る。

## 参加者の安全対策・健康管理

暑い時期で活動場所が地下体育館であり、窓には暗幕が貼られていることから、十分な給水を心がける。スタッフの中に安全管理指導員を配置し、工作作業等の指導を行い、事故のないよう留意する。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
5月10日	18-21	・運営委員(高校生を含む)会議 日程や中高生募集について決定
5月24日	13-18	・第1回ゆめフェスタ会議 中学生中心に企画作り
6月6日	13-18	・第2回ゆめフェスタ会議 企画案を検討
6月7日	13-18	・第3回ゆめフェスタ会議 企画案を具体化、用意する物の確認等
6月20日	13-18	・第4回ゆめフェスタ会議 図面等を検討・広報チラシの検討
6月21日	13-18	・第5回ゆめフェスタ会議 図面確定 子供向き迷路のコース検討
7月1日	18-21	・本日より設営作業開始 体育館の床にテープを貼る作業を実施
7月2・3日	18-21	・体育館に壁を立てる作業
7月4日 ～16日	16-21	・内装やお化けの仕掛け等の作成 (14.15日は電気工事も) 平日16時～21時(中学生は18時まで) 休日9時～21時(中学生は18時まで)
7月17日 ～19日	9-21	☆お化け屋敷本番(3日間)9時～21時 お化け役、受付、誘導等を分担して活動。迷路の準備とスタッフも行う。19日は撤収を行った
8月9日	18-21	◇反省会・アンケート集計



地獄の針山

## 活動の成果と課題

過去に参加した高校、大学生が中学生をリードし、集まりを重ねていくうちに、中学生がどんどん発言し、主体的に動くようになりました。多様な世代が集まることでジュニアリーダーが育ち、それが小中学生の成長に繋がる好循環を作る事が出来ました。地域の大人や、PTA等も一緒になって作り上げていく過程で、ここが自分の寄って立つ地域だ、という思いが、世代を超えて育っていきました。今年も狙いを達成することが出来、また大きな事故、怪我も無く3日間実施でき、成功だったと思います。渋谷区でも選択学校制となり、鉢山中学の生徒数は減少傾向にあり、学区内の子供の数も減少しているため、企画運営に携わる子供の確保が課題になっています。



クモの巣を後輩に伝授

## 団体概要

地域の中高生から青年までが、イベントを作り上げるプロセスを通して、青少年リーダーとして、成長すること、次世代の地域の担い手として育つことを目的として活動しています。旧・新PTAメンバーを中心にスポーツ推進委員、青少年委員などが中心となっています。現在5名の構成員(20代1名、50代4名 男性2名、女性3名)で運営し、活動に際しては毎年ボランティアを募っています。

## 通学路の清掃・花いっぱい活動

- 活動期間／平成27年10月17日(土)～平成28年1月16日(土) 2回
- 活動場所／東昌小学校周辺
- 募集地域／鹿児島市旧松元町
- 募集対象／中学生、保護者
- 募集方法／◆チラシ(配布先：小学校、児童クラブ、公民館)
- 実施団体名／おやゆび姫
- 構成員数／5人
- 連絡先／〒899-2705 鹿児島市直木町4807-1  
Mail: yume\_tm@outlook.jp Fax: 099-292-0077 代表 谷 真美



体験の風をおこそう 集合写真



プランターの設置

### 活動のねらいとポイント

地域の方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、子供たちのボランティア精神を培う事を目的とします。

具体的なプログラム名	主なポイント
通学路の花いっぱい活動	子供たちが花一つ一つに愛情を持って植える事で、日頃見守って頂いている地域の方々へ感謝の気持ちを伝える。
通学路の清掃活動	子供たちが清掃を通し、自分達が使っている通学路は地域の皆で利用している事を感じてもらおう。

### 参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】 万ーに備えボランティア保険に加入する。救急箱を常備する。事故のないよう、スタッフが会場内を巡視する。ポールを設置する。

【健康管理】 事前に保護者の方と連絡を取り合い、子供たちの健康状態を把握する。小まめな水分補給。休憩所確保。近隣の病院を把握しておく。看護師資格者を常駐させる。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
10月17日	10:00	集合
	10:10	オリエンテーション
	10:20	植花活動
	12:00	昼食
	13:00	清掃活動
	14:00	解散
1月16日	10:00	集合
	10:10	オリエンテーション
	10:20	植花活動
	12:00	昼食
	13:00	清掃活動
	14:00	解散

## 活動の成果と課題

子供たちをはじめ活動に参加した人は終始笑顔が絶えませんでした。それは地域の方々からの「有難うね」「綺麗になったね」等の温かいお声掛けがあったからです。活動終了後は「次はいつ?」「またしたい!」等、次に繋がる声が沢山聞こえました。初めは気分が乗っていなかった子供たちも活動を通してとても心が豊かになり、十分ボランティア精神を培う事が出来たと考えています。今後は今回の反省点も踏まえた上でもっと色々な地域の方に喜んで頂ける様、活動場所を変え、対象者枠を広げ、目や心を惹く活動内容を考え、広範囲に活動していきたいと思っています。



通学路の清掃



花植え開始!!

## 団体概要

H19年、地域のお母さんたちと子供の登下校を見守る活動を開始しました。地域の子供を守るのも育てるのも地域の大人であり、子供の成長を育むのは大人の役目だと考え、子供たちと一緒に社会貢献や様々な体験をサポートする事を目的に、H21年おやゆび姫としてボランティア団体を結成しました。現在20～60代までの男性2名、女性8名の主婦・会社員等が会員です。これまでの活動は、「椎茸駒打ち体験」「木工物づくり体験」「門松づくり体験」「地域除草・清掃活動」「餅つき体験」等、日々子供の健全育成に思考を凝らし、子供たちを始め地域の方に喜んで頂ける様に様々な活動を企画し活動中です。

# ウィズ キッズ スマイル

- 活動期間／平成27年4月15日～ 11月19日 15回
- 活動場所／京都市立医科大学附属病院小児医療センター、京都大学医学部附属病院小児科
- 募集地域／上記各病院に入院している患児
- 募集対象／未就学児(1～6歳)、小学生(1～6年生)、中学生、高校生
- 募集方法／◆ポスター(掲示先：上記各病院の小児病棟内)◆医師の許可
- 実施団体名／公益財団法人 京都YMCA ■構成員数／10人
- 連絡先／京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 Tel: 075-231-4388 Fax: 075-251-0970



いつも登場するバベットでお話しているところ



キャンプ体験

## 活動のわらいとポイント

病棟から出られない入院中の子供たちに、季節や楽しみを届けます。制限のある入院生活を過ごしている彼らに、目標や希望を見出すきっかけになればと願って実施しています。活動には、子供たちにとって少し上の年代の大学生が関わっています。

具体的なプログラム名	主なポイント
レクリエーション、クラフト	毎回、季節を感じられるようなテーマを設定し、限られた時間の中で達成できる様、進め方を工夫して歌やゲームを行う。クラフトをすることによって、プログラムのひと時だけ楽しんでもらうのではなく、出来たものを病室へ持ち帰り、楽しかった時間を思い出せるようにする。
夏祭り	祇園祭の山鉾保存会の協力によるお囃子演奏や、ヨーヨーすくい、スマートボールなど、夏祭りの屋台を再現し、病院にいながら夏祭りの雰囲気味わってもらおう。子供たちだけでなく、ご家族にも喜んでもらえる活動とする。
春と秋のコンサート	プロのエレクトーン奏者を迎え、夏と秋にコンサートを行う。事前に子供たちからアンケートをとり、弾いてもらいたい歌のリクエストに応える。子供たちが一緒に歌い、手遊びができるような参加型コンサートとする。(京都市立医科大学附属病院のみ)

## 参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】 病院側との打ち合わせを定期的実施し、活動の評価を行う。その際、病院側の要望も取り入れるようにする。清潔に保たれた環境での活動であるため、衛生面には細心の注意を払い、子供たちが直接手にする楽器や道具などは活動前にアルコールで消毒してから使用する。乳幼児も多く参加する活動であるため、細かな材質のものも使用を避ける。

【健康管理】 入院中の子供たちを守る、関わるスタッフ自身の健康を守る二つの観点から、4種の抗体検査をクリアしたスタッフのみが関わるようにする。特に冬期には流行性ウィルスを持ち込むことのない様、スタッフ全員が予防接種を受ける。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
4月15日	13:30-15:50 (3プレイルームで40分ずつ行う。)	テーマ:「ハロー? ボンジュール? 世界のみなさんこんにちは!」 場所:京都府立医科大学附属病院
4月17日	15:30-16:10	同上 場所:京都大学医学部附属病院
5月21日	15:15-16:00	テーマ:「春の子供コンサート」(特別プログラム) 内容:エレクトーン奏者を迎えて、子供たちからのリクエスト曲や劇を届ける。 場所:京都府立医科大学附属病院
5月22日	15:30-16:10	テーマ:「ぼかぼか陽気♪みんなでお花をさかせよう!」 場所:京都大学医学部附属病院
6月17日	13:30-15:50 (3プレイルームで40分ずつ行う。)	テーマ:「Let's go エジプト! じゅめじゅめ日本を出発だ!」 場所:京都府立医科大学附属病院
6月18日	15:30-16:10	同上 場所:京都大学医学部附属病院
7月15日	14:00-15:30	テーマ:「夏祭り」(特別プログラム) 内容:祇園祭南観音山保存会のお囃子方を迎え、屋台も設置し、お祭りを楽しむ。 場所:京都府立医科大学附属病院
8月16日	18:30-20:00	テーマ:「大文字送り火鑑賞会」(特別プログラム) 内容:五山の送り火に合わせて、お祭りを楽しみ、病院から見える大文字送り火を楽しむ。 場所:京都府立医科大学附属病院
8月31日	15:30-16:10	テーマ:「ゆーらゆら、カヌーの上は気持ちいい!」場所:京都大学医学部附属病院
9月16日	13:30-15:50 (3プレイルームで40分ずつ行う。)	同上 場所:京都府立医科大学附属病院
9月18日	15:30-16:10	テーマ:「レッツゴー! アメリカ。大きな野球場で運動会♪」 場所:京都大学医学部附属病院
10月20日	15:30-16:10	テーマ:「みんなで演奏ドレミファソ♪」 場所:京都大学医学部附属病院
10月29日	13:30-15:50	テーマ:「秋の子供コンサート」(特別プログラム) 内容:エレクトーン奏者を迎えて、子供たちからのリクエスト曲や劇を届ける。 場所:京都府立医科大学附属病院
11月17日	15:30-16:10	テーマ:「もみじ祭り」(特別プログラム) 内容:ヨーヨー釣りや輪投げ、スマートボールなどの屋台が登場する秋のお祭りを楽しむ。 場所:京都大学医学部附属病院
11月19日	13:30-15:50 (3プレイルームで40分ずつ行う。)	テーマ:「レッツゴー! アメリカ。大きな野球場で運動会♪」 場所:京都府立医科大学附属病院



秋の子供コンサート

## 活動の成果と課題

入院中の子供たちが活動に楽しんで参加してくださったことはもちろん、付き添っている保護者にも憩いの場となり、保護者にも和んでもらえる時間を提供することができました。また、季節の話やそれにまつわるクイズなどを通して、子供たちが楽しみながら外の世界の様子を感じられました。その伝え方についてもクラフトや道具を用いて、子供の興味関心を引き出しながら進めることができました。中でも今年度は、登場キャラクターに外国人を取り入れ、アメリカやエジプト、フランスへの旅をテーマとしたプログラムにも取り組み、季節とはまた違った、院内での生活では感じられないプログラム作りを行うことができました。看護師や病棟保育士からも「病室では見られない子供たちの表情を見る事が出来て、私たちも元気をもらえます」と評価していただけました。

課題としては、病棟や訪問する時期によって参加する子供たちの年齢が様々(乳幼児から高校生)であるが故に、活動内容や進め方を参加年齢に合わせて柔軟に対応していくことです。



カヌープログラム

## 団体概要

【目的】 YMCA は、1844年イギリスのロンドンで誕生しました。以来、世界119の国と地域に広がる国際的非営利団体(NGO/NPO)です。YMCAの活動は、生涯にわたる学習、語学教育、幼児教育、野外活動、健康教育、国際理解教育、ボランティア活動等を通じて人々の精神・知性・身体の調和と発達を願い、キリストに示された愛と奉仕の生き方を分かち合うことを目的としています。京都YMCAでは、水泳、バスケットボール、サッカー、体操、英会話の各教室、キャンプやスキープログラム等の野外活動、アフタースクール、発達に障がいのある子供たちのサポートプログラム等を展開しています。

【構成】 参加会員数：1,647名、ボランティア会員数：567名、その他会員数249名、賛助会員数：45団体・16名  
常勤スタッフ22名、非常勤スタッフ110名

# ウーリー読書キャンプ

- 活動期間／平成27年10月24日(土)～10月25日(日) 1泊2日
- 活動場所／国立吉備青少年自然の家
- 募集対象／小学生(1～6年生)、中学生、高校生
- 実施団体名／社会福祉法人 豊野助正会 児童養護施設みのり園
- 構成員数／10人
- 連絡先／岡山県加賀郡吉備中央町豊野 3 9 9    Tel: 0866-54-1028    Fax: 0866-54-1348



どんなお面にしようかな。



読み聞かせ

## 活動のねらいとポイント

読み聞かせと体験を組み合わせ、能動的に五感で本を楽しむことで自己肯定感の構築やコミュニケーション能力の育成を計ります。

具体的なプログラム名	主なポイント
五感で本を楽しむ	『ハンバーグ ハンバーグ』『オムライス ハイ!』など料理をテーマにした本の読み聞かせをし、グループで実際に調理をして美味しく味わう。視覚・聴覚だけでなく、臭覚・触覚・味覚も使って本を楽しむ。
読書への アニメーション	本を読むだけでなく、本を活かした遊びやゲームを通して、読書に対して親しむ気持ちやコミュニケーション能力を育てる。
木登りに関する 読み聞かせと ツリーイング体験	『木はいいなあ』『きがくれたおくりもの』など読み聞かせてから、木の上から見る景色を想像させたり、木に登った時の気持ちに思いを馳せ、自力で大きな木に登ることで自己肯定感の構築を計る。

## 参加者の安全対策・健康管理

絵本専門士や国立吉備青少年自然の家職員と事前に打ち合わせを十分に行い、発達障がいのある児童について対応方法を知らせておく。国立吉備青少年自然の家職員とみのり園職員が各グループにつき、調理中にケガをしないように気を付ける。

ツリーイングでは、専門の外部指導者を依頼して対応する。

日ごろより入所児童の健康管理について気をつけているが、活動中はより一層気を配るよう引率者へ指示する。



## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
10月24日	10:00	みのり園 出発
	10:30	国立吉備青少年自然の家 到着
	10:50	入所式・レクリエーション
	12:00	昼食(食堂)
	13:00	読み聞かせ①ももたろう お面、背景作り
	14:30	読み聞かせ(調理体験) 5種類の本を読み調理に取り掛かる 『おともだちカレー』『ハンバーグ ハンバーグ』『オムライス ヘイ!』 【いかりのギョーザ】『スパゲッティがたべたいよう』 ①カレー班 ②ハンバーグ班 ③オムライス班 ④餃子班 ⑤スパゲッティ班に分かれて、調理・食事・片付けを行う
	19:00	読み聞かせ②ももたろう すごろく <アニメーション>
	20:30	入浴
22:00	就寝	
10月25日	6:30	起床・洗面・荷物をまとめる
	7:00	清掃
	8:00	朝食(食堂)
	10:00	小学生 読み聞かせ(木登り体験) 2種類の本を読んでツリーイング 『木はいいなあ』『きがくれたおくりもの』 中学生 読み聞かせと視力を失った絵本作家の疑似体験 『ちょっとそこまでばんかいに』『あしたのねこ』 自分の夢について1人1人発表する
	12:30	昼食(食堂)
	13:30	退所式 小・中・高 1名ずつ感想を発表する
	14:30	みのり園 到着



スパゲッティ、早く食べようよ。

## 活動の成果と課題

小学1年生から高校2年生までと年齢層は広がったのですが、読み聞かせ中は静かに集中し、興味深く聞いていました。そして、体験活動では各グループで互いに協力したり、年長児が年下の子に教えたり、コミュニケーションを取りながら楽しく活動していました。

読み聞かせと体験を組み合わせることで、本に親しむだけでなく、その本の内容から想像したことや感じたことを実際に体験し、能動的な活動に移していくことができました。中高生の中には、まだ将来の夢が明確に描けていない子供が多かったので、このようにいろいろな体験をすることによって、少しずつ自分の将来への方向性が見えてきて、自分の可能性を信じ幅広い夢を持てることを願っています。



上までがんばるぞ。

## 団体概要

S.8 財団法人豊野村強化団体施設事業助成会を設立。S.14 財団法人豊野助正会と改称。幼児の託児所などの開設。  
S.21 青年女子の教育のため豊野学園を開設。S.23 託児所を豊野保育園と改称。S.25 児童養護施設みのり園を開設。S.27 社会福祉法人豊野助正会と改称。H.10 豊野保育園を町へ委託。

【目的】 乳児を除いて保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を入所させ、これを擁護し、あわせてその自立を支援することを目的とする。

【構成】 職員30名で、未就学児棟、学童棟、グループホームで児童定員60名の養護を実施している。現在(H28.4)の在籍児童数は45名である。

## おはなし会で活かす講習会

- 活動期間／平成27年7月17日～9月11日 2回
- 活動場所／白山市松任学習センター 2階 研修室
- 募集地域／石川県白山市
- 募集対象／一般成人
- 募集方法／◆チラシ(配布先：市内図書館、市内保育園、児童館、市内大学)  
◆ポスター(掲示先：市内図書館、市内大学)◆広報誌(広報はくさん、松任図書館だより)  
◆図書館ホームページ
- 実施団体名／子ども読書活動ネットワーク白山
- 構成員数／20人
- 連絡先／石川県白山市古城町1番地 白山市立松任図書館内 Tel: 076-274-9877 Fax: 076-274-5401



おはなし会の進め方



子供が心惹かれる場面

### 活動のわらいとポイント

おはなし会を実践研究している講師による講習会を開催し、おはなし会に必要な基本的な技術などを学習します。

具体的なプログラム名	主なポイント
おはなし会でのおはなしプログラムの構成を学ぶ	絵本の持ち方、話し方などの基礎的なおはなし技術の習得する。わらべ唄や素話の順番など、魅力あるおはなし会の構成を習得する。
おはなし会で読む絵本の選び方などを学ぶ	子供におはなし会が与える影響や子供が絵本の何処に興味をもつかなどを踏まえ、本の選定方法について学ぶ。

### 参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】会場入口において、不審者が侵入することのないように気をつける。

【健康管理】会場の空調に気をつけると共に講演中でも適時、水分補給を行う。

## 活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
7月17日		【おはなし会基礎講座】
	14:00	開会
	14:05	おはなし会プログラム構成の仕方の講義の実施
	14:20	実演による絵本の読み方の技術の講義の実施
	15:00	講義の内容を確認するため、受講者によるおはなし会の実演の実施
	16:00	閉会
9月11日		【子供にとっておはなし会とは】
	14:00	開会
	14:05	子供にあたるおはなし会の影響についての講義の実施
	14:30	年齢にあったふさわしい絵本を紹介する講義の実施
	15:30	講義の内容確認のため、受講者がおはなし会での絵本の読み方の実演を実施
	16:00	閉会

## 活動の成果と課題

「おはなし会基礎講座」では、おはなし会の実演をしながら、絵本の持ち方などの技術や、季節に応じた「わらべ唄」や「ストーリーテリング」をプログラムに組み込む方法について講義を行いました。受講者からは、今後のおはなし会で実践したいとの意見や、今回の講師の講義をまた受けたいとの要望などもありました。

「子供にとっておはなし会とは」では、子供が絵本の「何処に興味をもっているか」に関してや、年齢に応じた絵本を読み聞かせることが「子供たちが絵本により興味をもつこと」につながることを受講者自身が学ぶことができ、ぜひ今回の講座内容を今後のお話会で活かしたいとの意見を多くの受講者から頂きました。

課題として、多くの受講者が集まる魅力ある講習会にするためには、おはなし会会員や保育士などのニーズを把握する必要があると考えています。



絵本の回覧



参加者の実演

## 団体概要

【目的】「白山市子ども読書活動推進計画」に基づき、市立図書館や学校施設などの市内関係施設と連携をとり、子供たちの読書活動の推進や、子供たちが進んで読書をする環境づくりを図ることを目的としています。

【構成】 会長以下、子供文庫、おはなしボランティアなどのメンバー20名で活動しており、年齢は30代から60代、の幅広い構成となっています。また構成員20名の内、男性10名、女性10名です。

【設立の背景】 平成17年2月に市町村合併により「松任市子ども読書活動推進研究会」から「白山市子ども読書活動推進研究会」に改称し、平成19年3月に「白山市子ども読書活動推進計画」が策定されたことを機に「子ども読書活動ネットワーク白山」に改称しました。

# 絵本専門士

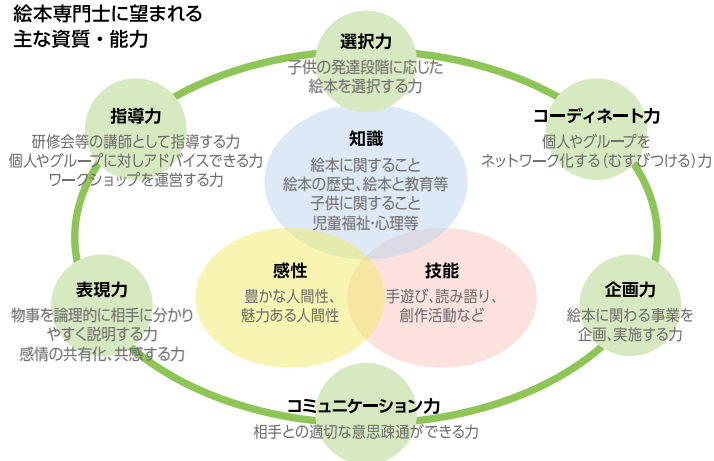
## 絵本専門士（絵本のスペシャリスト）とは

絵本専門士とは、絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家です。子供の読書活動の重要性や読書活動推進に関する取組みの地域間格差が指摘される今、子供だけでなく大人に対して絵本の魅力や可能性を伝える指導者として大いに期待される存在です。

絵本専門士養成制度は、平成26年に絵本に係る有職者からなる絵本専門士委員会により創設された制度であり、平成28年春には約100名の絵本専門士を送り出し、全国各地で活躍しております。

絵本専門士の役割は、読み聞かせやおはなし会、ワークショップなど実際に本を使って行う取組み、絵本に関する知識を持って行う指導・助言、絵本に関する自らのネットワークを活かした人的・物的コーディネートなど幅広く、活動の場所も幼稚園や学校から図書館、医療機関まで様々です。

絵本専門士に求められる  
主な資質・能力



## 『絵本専門士』養成講座

絵本専門士養成講座は、絵本専門士委員会が策定するカリキュラムと修了課題により構成されます。

カリキュラムは、絵本に関する事業の企画・実施や指導などを行う絵本専門士として備えるべき能力を習得させるために必要な内容を十分に盛り込んだものとしています。具体的には、絵本や子供に関する知識、おはなし会やワークショップを運営する技能を身に付け、豊かな感性を育むことを目的とし、50時間程度の授業時間を確保することとしています。また、絵本に関する多様な領域の専門家や実践家を講師とし、講義、演習等の様々な形態で、少人数の受講者にきめ細かい指導や密度の高い授業を実施することを特長としています。

修了課題は、全ての授業を受講した後、絵本専門士として必要な資質・能力を備えているかどうか確認するため、レポート等の方法で実施されます。

授業の成績と修了課題の評価を併せて、絵本専門士の認定について審査します。



絵本専門士養成講座の様子

### ●絵本専門士養成講座カリキュラム骨子（第3期）

分野	科目	授業数
知識を深める	絵本論	5
	絵本の体系・ジャンル	3
	絵本と出会う	4
技能を高める	絵本の世界を広げる技術	3
	絵本を紹介する技術	3
	おはなし会の手法	2
感性を磨く	絵本の持つ力	1
	心に寄り添う絵本	1
	絵本のある空間	1
	子供の心をとらえるもの	1
	大人の心を豊かにする絵本	1
	ホスピタリティに学ぶ	1
	絵本が生まれる現場	2
オリエンテーション	1	
ディスカッション	1	
合計		30



# 絵本の魅力と可能性を伝えるスペシャリスト

## 絵本専門士として

平成27年春に認定された第1期絵本専門士は、地元のケーブルテレビの子育て番組内にて、0~2歳向けの絵本の紹介コーナーを担当したり、市の「子ども読書活動推進会議」委員として、子供の読書活動の推進に関する調査等に参画したり、絵本専門士数名でグループを結成し、おはなし会などのイベントを企画・運営するなど、全国各地で様々な形で活動を行っています。

第1期絵本専門士4名に養成講座で得たこと、今後の抱負を述べてもらいました。



立石 有礎さん  
徳島県・中学校教諭

絵本に関する総合プロデュース力を身に付けたいと考え、受講しました。受講して何より財産になったのは、全国から集まった志を同じくする仲間を得たことでした。同期生のみなさんの知識や経験は大変豊富で、教えられることも多いです。今年は地元での絵本イベントを構想しており、仲間にもアドバイスをもらいつつ開催に向けて準備していきたいです。



芳賀 稔さん  
東京都・出版社  
(鈴木出版)

絵本専門士養成講座において、全体を通して絵本というものを再認識するという、当初の目的を多少は達成できました。

受講後は、絵本制作の面で役立っているだけでなく絵本を深く考えるための研究会を立ち上げ、絵本の見方や生活の中の絵本、絵本の果たす役割など、広い視野で絵本を考えていこうと思っています。



松本 美幸さん  
長野県・図書館職員

絵本に対しての知識アップ、実技力アップとなり、自信にも繋がりました。同じ志を持った仲間と知り合えたのも、大きな宝物です。

絵本専門士であることを自覚しながら、これからも絵本をより多くの方々に親しんで頂けるよう、各種講座、イベント、お話し会等を積極的に働きかけていきたいと思っています。これからも自分自身のスキルアップにも努めていきたいです。



尾場瀬 敦美さん  
福岡県・おはなしアリス

講座を受講し、絵本の持つ力と可能性を捉えなおすとともに“絵本を見る確かな眼”を身につけることができました。

講座で得た知識と技術を活かし、絵本の読み聞かせ、子育て世代へ向けての絵本講座や読書ボランティアの育成など、より幅広い活動を実践しています。

今後も絵本と向き合い続け“確かな眼”で多くの人に、その素晴らしさを伝えていきたいです。



◎絵本専門士は、おはなし会の企画・実践や指導者向け講演会等を行うことができます。その他、ご要望に応じて絵本専門士を派遣させていただきます。

派遣の際には、「絵本専門士派遣申請書」の提出が必要となります。詳しくは、下記宛先までお問い合わせください。

□絵本専門士養成講座に関するお問い合わせ先

**国立青少年教育振興機構 教育事業部企画課**

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL : 03-6407-7713 FAX : 03-6407-7699

# めざせ！アウトドアマイスター

■教材名／めざせ！アウトドアマイスター ■団体名／特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会

■連絡先／東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

Tel: 03-6407-8240 Fax: 03-6407-8241

■教材の入手先／<http://c-odc.jp/gamba/>

## 団体プロフィール

当協議会は「自然体験活動憲章」の精神に基づき、自然を舞台とした全ての自然体験活動の促進に寄与することを目的としています。また、自然体験活動の調査研究や普及・啓発などを通して、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進すると共に、分野や地域を超えて自然体験活動に取り組む人々や機関、団体間の連携による様々な交流支援事業を行っています。

## 教材利用のポイント

家の中でも容易に取り組み、ステップアップすると実際に家の外や近くの公園へと少しずつ野外に誘導して解答を得ることとなります。ただし、必ずしも正解に至らなくても「へ〜」という発見や新たな興味を持續するようにステップ2までは5〜6時間、ステップ3まで2〜3週間を想定しています。また、林間学校や自然教室など校外学習での事前学習教材としても活用できます。

スタート画面

アワード



ステップ1  
ガイド役は「ガンバ」、4つのフィールドから選択すると出題される。自然体験活動のイメージを確認することがねらい。



ステップ2  
ガイド役は「ガクシャ」、8つの野外技能から選択すると出題される。自然体験活動への興味関心を引き出すことがねらい。



ステップ3  
ガイド役は「ヨイショ」、5つの活動区分から選択すると出題される。実際に活動を促すことがねらいで、特に正解は求めない。

## 教材の概要

映画「ガンバと仲間たち」のキャラクターが案内人となり、自然体験活動に関する知識や技能を問題とするクイズで構成され、パソコンだけでなくタブレットやスマートフォンでも利用できます。

### 【内容】

○最初のステップは「山、川、海」など4つのフィールドから、次には「テント、火おこし、ロープ」など8つの野外技能から、それぞれ三段階の難易度で季節も考慮した問題がシャッフルされて出題されます。最後のステップでは「あそぶ、つくる、くらす」など国立青少年教育振興機構発行の「体験・遊びナビゲーター」にある5つの活動区分から実際に外に出なければ回答できない問題が出題されます。

○各問題に正解すると難易度に応じて10、20、30ポイントが付与され、各ステップは300ポイント獲得でクリアー。最終的には「アウトドアマイスター」の称号が授与され、2L判の写真プリントもできます。また、外遊びや野外活動に興味関心が出てきた場合、体験活動検索サイト「いこーよ」とリンクし、外遊びに誘導します。ステップ1と2は約200問づつ、ステップ3は約150問あり、正誤に限らず問題ごとに解説が付き教育教材としても利用できます。獲得ポイントは常に把握でき、達成感を確認すると共に地域や全国でのランキングも表示され、友だちと共に挑戦し楽しめます。

このゲームから「なぜ」を引き出し、「努力」した成果の「達成感」を学校での評価とは異なる「アウトドアマイスター」称号で、小さな自信と誇りが芽生えたらと願っています。

## 平成27年度助成活動で開発された教材一覧

団体名	活動名・教材名	教材 URL
公益社団法人 日本山岳会	親子で楽しむ山登り vol3	<a href="http://www.jac.or.jp/oyako">http://www.jac.or.jp/oyako</a>
一般社団法人アーツブレッド	Mozartext ～親子で体験する愉快的音楽～	<a href="http://www.mozarttext.com">http://www.mozarttext.com</a>
天プラネット	宇宙のすべてを俯瞰する 宇宙図@オンライン 2.0	<a href="http://www.tenpla.net/babel/">www.tenpla.net/babel/</a>
特定非営利活動法人 教育支援協会北海道	見て学ぶ!～英語でコミュニケーション活動～	<a href="http://kyoikushien-h.com/mitemanabu/">http://kyoikushien-h.com/mitemanabu/</a>
一般社団法人 日本クラリネット協会	みんなでステップアップ～吹奏楽楽器別教本	<a href="http://www.jp-clarinet.org/modules/news/article.php?storyid=121">http://www.jp-clarinet.org/modules/news/article.php?storyid=121</a>
公益財団法人 日本進路指導協会	自分発見! 未来の夢へ一歩みだそう! (子どもたちも使えるキャリア教育支援ソールの開発)	<a href="http://mirai-yume.net/">http://mirai-yume.net/</a>
一般社団法人 インターネットコンテンツ審査監視機構	「ネット社会を生きるカーインターネットを使いこなす6つのひけつ」	<a href="http://www.dcajr.jp/">http://www.dcajr.jp/</a>
特定非営利活動法人 教育支援協会	土曜学習指導者用教材	<a href="http://dogaku-support.net/">http://dogaku-support.net/</a>
特定非営利活動法人 地球船クラブ	みんなで「地球美化ミッション」～キミは「ごみ」から未来の地球を救えるか?～	<a href="http://chikyuu-mission.info">http://chikyuu-mission.info</a>
特定非営利活動法人 日本こどもの安全教育総合研究所	犯罪から自分を守る体験学習教材	<a href="http://kodomoanzen.org/">http://kodomoanzen.org/</a>
おむつなし育児研究所 東京サロン	早寝早起き うんちよし!	<a href="http://unchi.jp/">http://unchi.jp/</a>
東京大学大学院 情報学環 反転学習社会連携講座	動物と自然とわたしをつなぐ どうぶつ大冒険	<a href="http://www.d-bouken.jp/">http://www.d-bouken.jp/</a>
一般社団法人 日本設備管理学会 就労支援技術研究会	「就コミ!RPG」	<a href="http://www.syucom.org/">http://www.syucom.org/</a>
公益社団法人 大阪自然環境保全協会	微小貝さがしサポート図鑑	<a href="http://bishogai-sagashi.jp/">http://bishogai-sagashi.jp/</a>
特別支援教育デザイン研究会	日本語学習モバイル教材一読み書きが苦手な子どもの基礎トレーニング	<a href="http://sn1.e-kokoro.ne.jp/japanese/">http://sn1.e-kokoro.ne.jp/japanese/</a>
聴覚障害児のためのアプリ教材開発研究会	みんなで作ろう!手話歌動画	<a href="http://shuwauta.info/">http://shuwauta.info/</a>
子どもの早起きをすすめる会	生活リズム甲子園 高校生スペシャル	<a href="http://www.rizumu-koshien.jp/">http://www.rizumu-koshien.jp/</a>
特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク	サイボウくんのお天気ぼうさい探検隊	<a href="http://www.bosai-weathercaster.jp/index.html">http://www.bosai-weathercaster.jp/index.html</a>
合同会社 LIFE IS BEAUTIFUL	自分の仕事を見つけよう!	<a href="http://www.challenge.okinawa">http://www.challenge.okinawa</a>
公益財団法人JAA人間力育成協会	航空科学教材ハイブリッドフリーブレン	<a href="http://www.jaeazaidan.org/">http://www.jaeazaidan.org/</a>
特定非営利活動法人 日本子守唄協会	子守唄さん ありがとう	<a href="http://www.komoriuta.jp/ar/A15110519.html">http://www.komoriuta.jp/ar/A15110519.html</a>
一般財団法人 日本視聴覚教育協会	スマホの落とし穴 -親子・地域で考えよう- (仮題)	<a href="http://javea.or.jp/">http://javea.or.jp/</a>
特定非営利活動法人 ZEROキッズ	日本文化おもしろ体験塾	<a href="http://www.c-c-cnet.org/nihon_bunka/">http://www.c-c-cnet.org/nihon_bunka/</a>
公益財団法人 学習ソフトウェア情報研究センター	おもしろプログラミング@ミニミニコンピュータ実験室	<a href="http://www.gakujoken.or.jp/minimini/">http://www.gakujoken.or.jp/minimini/</a>
全国視聴覚教育連盟	仮称 キッズ介護教材 長寿大国を探検しよう	<a href="http://www.zenshi.jp/kids/">http://www.zenshi.jp/kids/</a>
特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会	めざせ!アウトドアマイスター	<a href="http://c-odc.jp/gamba">http://c-odc.jp/gamba</a>
特別支援教育デザイン研究会	特別支援教育「すぐに使える!プリント教材+English」	<a href="http://sn1.e-kokoro.ne.jp/english/">http://sn1.e-kokoro.ne.jp/english/</a>
株式会社フジテレビKIDS	自然と遊ぼう!森へ行こう!山へ行こう!川へ、海へ行こう! -自然体験の手引き書-	<a href="http://p-kidscamp.com/">http://p-kidscamp.com/</a>
一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム	ワン・ミニッツ・ムービー -冒険物語をつくらう!-	<a href="http://1min.work/">http://1min.work/</a>



# 日中韓子ども童話交流事業

- 事業期間／平成27年8月17日(月)～8月23日(日) 6泊7日
- 実施場所／東京都及び新潟県
- 参加者／小学生(4～6年生) 99名(日本33名、中国33名、韓国33名)  
参加経験者 22名(日本10名、中国4名、韓国8名)
- 主催／日中韓子ども童話交流事業実行委員会  
(子どもの未来を考える議員連盟、国立青少年教育振興機構)

## 事業の背景

日中韓子ども童話交流事業は、日本・中国・韓国の子供たちが一堂に会し、各国の絵本・童話を通じて読書の楽しみを知ってもらうとともに、相互理解と友情を深めることを目的として、平成14年の「日中韓国民交流年」を機に日本で開始しました。平成23年からは日中韓3か国による巡回開催となりました。

また、平成27年からは、過去に本事業に参加し、現在は大学生や社会人となっている参加経験者同士が交流する「参加経験者交流会」を開催しています。

## 事業のわらい

本事業では、3か国の子供たちがグループになり、協力しながらオリジナルの絵本を創作することで、読書の楽しみを知り、互いの友情を深めることを目的としています。

## 世界に一つだけの創作絵本

絵本づくりは平成27年のテーマである「実(みのり)」に関する物語を作りました。体験したプログラムをもとに、絵本の主人公が困難を克服して実(みのり)を得るストーリーを、10人のグループメンバーが相談しながら世界に一つだけの絵本づくりに挑みました。



テーマをもとにストーリーを考え中



1人1ページ絵を描く日中韓の子供たち



## 事業の日程・プログラム内容

月/日	時間帯	プログラム内容
8月17日	午後	開会式・オリエンテーション・グループタイム
8月18日	午前	「日中韓の昔話集」読み聞かせ
	午後	国際子ども図書館見学
8月19日	午前	新潟へ移動
	午後	えちご体験①奥只見湖クルーズなど 歓迎アトラクション 秋山豊寛さん(宇宙飛行士)の講演
8月20日	午前	えちご体験②野菜収穫体験・ぬか釜体験
	午後	えちご体験③越後妻有里山現代美術館「キレーナ」見学 「田島征三絵本と木の実の美術館」見学と読み聞かせ
8月21日	午前	絵本づくり①「物語を作る」
	午後	絵本づくり②「絵を描く」 交流タイム「かくし芸大会」
8月22日	午前	絵本づくり③「絵本を製本する」
	午後	さよなら夕食会 絵本の発表会
8月23日	午前	解散式(宣言文の発表・交流の旗引き継ぎ)



描いたページをつなぎ1冊の絵本が完成



協力して創作した絵本の発表会

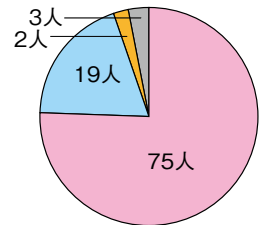
## 事業の特色

- ①この事業では毎年異なるテーマが設定されており、プログラムや絵本づくりの内容などにつながりを持たせています。平成27年のテーマ「実(みのり)」は、新潟での収穫体験や3か国の交流が実ることを願い設定されました。
- ②3か国の子供たちが体験したことや学んだこと、交流の中で感じたことやそれぞれの夢を、テーマに合わせて1冊の絵本を創作します。

## 事業の成果

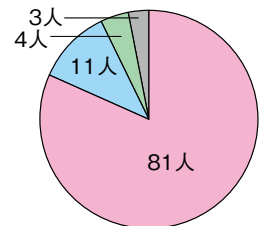
Q この事業を通して、読書の楽しみがわかりましたか？

- 1 わかった=75人
- 2 少しわかった=19人
- 3 あまりわからなかった=0
- 4 わからなかった=2人
- 5 無回答=3人



Q この事業を通して、日本・中国・韓国の子供たちと気持ちを通じ合うことができましたか？

- 1 できた=81人
- 2 少しできた=11人
- 3 あまりできなかった=4人
- 4 できなかった=0
- 5 無回答=3人



参加経験者の熱い議論

## 日中韓子ども童話交流日本人参加経験者交流会

おおよそ10年前に参加した参加経験者が、参加している子供たちとの交流や、参加経験者同士での協議をとおして、今後の夢や3か国交流の在り方を考えました。プログラムを通して3か国が集まる同窓会組織の設立が発案されました。

# 申請・採択状況

(8月1日現在)

## 平成28年度 活動区分別申請・採択状況

活動分野	申請件数	採択件数	交付決定額 (単位：千円)
子どもの体験活動	6,043	4,566	1,527,412
子どもの読書活動	736	568	157,430
教材開発・普及活動	51	15	96,220
合計	6,830	5,149	1,781,062

## 平成27年度 活動区分別申請・採択状況

活動分野	申請件数	採択件数	交付決定額 (単位：千円)
子どもの体験活動	5,010	4,665	2,006,049
子どもの読書活動	669	559	161,890
教材開発・普及活動	70	29	202,451
合計	5,749	5,253	2,370,390

## 平成28年度 都道府県別申請・採択状況

(単位：件)

都道府県	活動区分	申請	採択
北海道	体験活動	302	263
	読書活動	22	19
青森県	体験活動	56	42
	読書活動	4	4
岩手県	体験活動	40	30
	読書活動	4	2
宮城県	体験活動	77	66
	読書活動	7	7
秋田県	体験活動	30	26
	読書活動	8	6
山形県	体験活動	91	53
	読書活動	6	4
福島県	体験活動	72	49
	読書活動	11	7
茨城県	体験活動	98	79
	読書活動	10	8
栃木県	体験活動	98	65
	読書活動	20	18
群馬県	体験活動	85	62
	読書活動	5	3
埼玉県	体験活動	228	178
	読書活動	18	14
千葉県	体験活動	257	193
	読書活動	21	13
東京都	体験活動	995	720
	読書活動	115	88
神奈川県	体験活動	233	184
	読書活動	37	28
新潟県	体験活動	103	86
	読書活動	9	9
富山県	体験活動	19	15
	読書活動	1	1

都道府県	活動区分	申請	採択
石川県	体験活動	66	57
	読書活動	7	5
福井県	体験活動	42	29
	読書活動	7	5
山梨県	体験活動	108	59
	読書活動	6	6
長野県	体験活動	106	83
	読書活動	13	11
岐阜県	体験活動	93	77
	読書活動	7	5
静岡県	体験活動	120	97
	読書活動	20	14
愛知県	体験活動	204	151
	読書活動	20	15
三重県	体験活動	52	41
	読書活動	3	3
滋賀県	体験活動	73	61
	読書活動	10	8
京都府	体験活動	119	98
	読書活動	7	5
大阪府	体験活動	406	321
	読書活動	62	55
兵庫県	体験活動	249	180
	読書活動	34	24
奈良県	体験活動	83	67
	読書活動	12	12
和歌山県	体験活動	63	49
	読書活動	17	15
鳥取県	体験活動	32	23
	読書活動	3	1
島根県	体験活動	29	21
	読書活動	8	4

都道府県	活動区分	申請	採択
岡山県	体験活動	118	89
	読書活動	7	5
広島県	体験活動	59	43
	読書活動	5	5
山口県	体験活動	37	30
	読書活動	4	3
徳島県	体験活動	67	49
	読書活動	7	6
香川県	体験活動	43	34
	読書活動	7	6
愛媛県	体験活動	116	92
	読書活動	10	7
高知県	体験活動	74	46
	読書活動	7	4
福岡県	体験活動	254	200
	読書活動	50	37
佐賀県	体験活動	28	25
	読書活動	14	5
長崎県	体験活動	91	56
	読書活動	12	6
熊本県	体験活動	114	80
	読書活動	30	25
大分県	体験活動	36	28
	読書活動	1	1
宮崎県	体験活動	72	52
	読書活動	13	12
鹿児島県	体験活動	262	187
	読書活動	30	23
沖縄県	体験活動	43	30
	読書活動	5	4

# 子どもゆめ基金へのご協力を

子どもゆめ基金は、国と民間が協力して青少年教育に関する団体が行う子供の体験活動や読書活動などの振興を図り、子供の健全育成に寄与するものです。

このため、個人、企業からのご協力をいただき、基金の拡大を図り、幅広くその活動を支援することにしています。

下記の募金口座にて募金を受付しております。広く皆様のご理解とご支援を何卒お願い申し上げます。

なお、子どもゆめ基金に対するご寄附は、税制上の優遇措置を受けることができます。

## 振替口座

口座番号 00150-5-371382

口座名義 子どもゆめ基金

※振込に便利な振替払込書を中に綴じておりますので、ご利用ください。

## 銀行口座

銀行名 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店

口座番号 普通預金 3025103

口座名義 子どもゆめ基金

子どもゆめ基金への支援

検索

## 「子どもゆめ基金」へ寄附いただいた皆様

平成27年度に「子どもゆめ基金」へご寄附いただいた主な方々です。

(あいうえお順・敬称略)

科学ゆめクラブ津山	株式会社伊藤園
株式会社明和サービス	株式会社八洋
コカ・コーライーストジャパン株式会社	シンソー印刷株式会社
曾我部 國久	特定非営利活動法人子ども文化ステーション
特定非営利活動法人 青少年育成ネットワーク・ウイング	特定非営利活動法人 日本子守唄協会
特定非営利活動法人八王子レクリエーション協会	日本大学生産工学部夢化学21グループ
日広株式会社	ブルスキンボディズ (PuLL Skin Body's)
村井 悠治	ライフカード株式会社

## 子どもゆめ基金ガイド2016

2016年8月発行

編集 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部

発行 独立行政法人国立青少年教育振興機構

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

電話 0120-579081 (フリーダイヤル)

URL <http://yumekikin.niye.go.jp/>

E-mail [yume@niye.go.jp](mailto:yume@niye.go.jp)

# 全国の国立青少年教育施設のご案内

宿泊体験学習に!

スポーツ合宿に!

研修に!

講演会に!

ミーティングに!

青少年の体験活動をサポートする  
国立青少年教育施設が全国に28か所



国立オリンピック記念  
青少年総合センター  
(東京都渋谷区)

## 国立青少年交流の家

- 1 国立大雪青少年交流の家 (北海道美瑛町)
- 2 国立岩手山青少年交流の家 (岩手県滝沢市)
- 3 国立磐梯青少年交流の家 (福島県猪苗代町)
- 4 国立赤城青少年交流の家 (群馬県前橋市)
- 5 国立能登青少年交流の家 (石川県羽咋市)
- 6 国立乗鞍青少年交流の家 (岐阜県高山市)
- 7 国立中央青少年交流の家 (静岡県御殿場市)
- 8 国立淡路青少年交流の家 (兵庫県南あわじ市)
- 9 国立三瓶青少年交流の家 (島根県大田市)
- 10 国立江田島青少年交流の家 (広島県江田島市)
- 11 国立大洲青少年交流の家 (愛媛県大洲市)
- 12 国立阿蘇青少年交流の家 (熊本県阿蘇市)
- 13 国立沖縄青少年交流の家 (沖縄県渡嘉敷村)

## 国立青少年自然の家

- 1 国立日高青少年自然の家 (北海道日高町)
- 2 国立花山青少年自然の家 (宮城県栗原市)
- 3 国立那須甲子青少年自然の家 (福島県西郷村)
- 4 国立信州高遠青少年自然の家 (長野県伊那市)
- 5 国立妙高青少年自然の家 (新潟県妙高市)
- 6 国立立山青少年自然の家 (富山県立山町)
- 7 国立若狭湾青少年自然の家 (福井県小浜市)
- 8 国立曾爾青少年自然の家 (奈良県曾爾村)
- 9 国立吉備青少年自然の家 (岡山県吉備中央町)
- 10 国立山口徳地青少年自然の家 (山口県山口市)
- 11 国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市)
- 12 国立夜須高原青少年自然の家 (福岡県筑前町)
- 13 国立諫早青少年自然の家 (長崎県諫早市)
- 14 国立大隅青少年自然の家 (鹿児島県鹿屋市)

子どもゆめ基金についてのお問い合わせ

TEL : 0120-579081

E-mail : yume@niye.go.jp

URL : <http://yumekikin.niye.go.jp/>



National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1  
TEL 03-3467-7201 (代表)  
URL <http://www.niye.go.jp>